

明光電子

FA向け組込みソリューション拡充 機械式メータをIoT化

エレクトロニクス商社の明光電子は、スマートファクトリーや工場のFAシステムに向けた組込み技術によるソリューションを拡充している。



十川 社長

同社は半導体・電子部品の調達から技術サポート、製造、検査までを一括サポートしている。仕入れメーカーと連携し、IoT化の開発に必須となるデバイス、センサー、無線、開発プラットフォーム評価キットなどを活用した独自のアプリケーションの開発・提供に取り組み。

特に組込み技術による工場のIoT化に向けたアプリケーションの開発、提供に注力している。

十川正明社長は「車の自動運転、IoT、AI、ロボットと新たな産業が発展の緒に就いた。これからの時代はこれらの産業が拡大し、産業界は活況が続くだろう。これまで取り組んできた様々なアプリケーションが成果に結び付く」と期待する。

超高速画像センシングソリューションは、

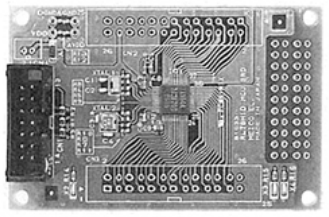


工場の機械式メータをIoT化するソリューション

エクスピジョン社の「HSV SDK」(高速ビジョン開発プラットフォーム)と、「HSV-MCI」(カメラ製品)を用い、最高2千fpsでの高速リアルタイム計測・制御のシステムを構築することができ

る。工場の製品検査工程など幅広い用途を見込んでいます。工場の機械式メータをIoT化するSIR社社のデバイスを用いたソリューションを開発し、提案を始め

た。機械式メータの指針の角度をセンサーで検知してPCで表示したり、通信機能の付



明光電子オリジナルのRL78/HID評価ボード

加によりインターネットを介して遠隔のPCでメータの監視もできる。機械式メータを取り換えることなく、工場のIoT化が実現する。

「スマートファクトリーIoT」は、センサー(測温抵抗体)、IoTエンジン、アナログ機能内蔵マイコン、無線(6LoWPAN)、有線通信PLCを用い、工場の温度管理の見える化をクラウド連携により、タブレットで実現するソリューションも提案。

工場のIoT化など幅広い用途を持つ「IoT Engine」としてユーザーテクノロジ社の製品を扱う。

同製品はIoT開発に必要なソフトウェアをパッケージ化し、IoT Engineのデバイスデータをクラウドで収集したり、クラウドからデバイスを制御するアプリケーションを簡単に作成できる。最新のRTOS「μT Kernel 2.0」を搭載している。

無線では、サーキットデザイン社のLoRa

a 変調方式429MHzから特定小電力無線モデムSLR-429Mを扱う。LoRa変調方式の採用により、従来のFSK変調に比べて超高感度を実現。アンテナも標準タイプから防水タイプ、マグネットタイプなど使用環境に応じたラインアップを紹介する。

同社オリジナルのRL78/HID(アナログ機能内蔵1チップマイコン)評価ボードも販売する。IoTエッジノードの開発用プラットフォームとして簡単にセンサーの性能評価が行える。